

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式													
EU41D102		学校実践実地研究 (Field Study of School Practice)					実習科目															
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員															
選択必修		3	1	教育学研究科	後期		氏名 内田昭利, 河野晋也, 藤村晃成, 森竹啓介, 高橋徹弥, 後藤竜太, 廣田秀俊															
							E-mail a-uchida@oita-u.ac.jp 内線 6135															
授業概要		目的：実習を通して，研究対象に関連する授業を中心とした観察と分析等を行い，自らの研究課題について考察を深め，探究方策を具体的に構想する力を養う。 「教育実践研究報告書」における自らの研究課題を探究できる実習校(現職教員は現任校，学卒院生は連携協力校)を定め、計15日間にわたる観察や授業実践等を行う。実習校では，実習担当教員の指導のもと，研究対象に関連する授業を中心とした観察と分析，授業実践と省察等を行い，自らの研究課題について考察を深めるとともに，探究方策を具体的に構想する。 学卒院生は，上記に加え学習指導以外の教員の仕事を理解するため，実習担当教員の指導のもと，学級事務補助，教室環境整備補助，基本的な学習指導補助，基本的な生徒																				
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
目標1 「教育実践研究報告書」における自らの研究課題を設定することができる								○	○		○											
目標2 自らの研究課題の探究方策を具体的に構想することができる								○	○		○											
目標3																						
目標4																						
目標5																						
目標6																						
目標7																						
目標8																						
目標9																						
目標10																						
授業の内容																						
1 【事前指導】																						
2 ・学校実践基礎研究等の成果や課題を踏まえた「研究計画書」の作成を通して、学校実践実地研究 における課題意識の明確化を図る。																						
3 【実習校における実習(週5日間×3週間)】																						
4 ・実習担当教員の指導のもと、実習校の年度目標や研究テーマ，教員組織、教育課題等を把握する。																						
5 ・実習担当教員の指導ならびに大学教員の巡回指導のもと，授業や生徒指導等の学校教育活動全体の観察の仕方を理解する。																						
6 ・実習担当教員の指導のもと，観察や授業実践等を通じて，実習校の子どもたちの状況を理解する。																						
7 ・実習担当教員の指導のもと，自らの研究課題に即した観察等を行う。																						
8 ・実習校における実地観察・体験を通じ，中学校の現場における教育活動に対する理解を深めるとともに，現状の成果と課題を把握する。																						
9 【事後指導】																						
10 ・省察科目「教育実践課題研究」を通して，15日間の実地研究の成果及び課題点を明確化する。																						
11 ・実地研究の省察を行った上で，成果報告を行う。																						
12 ・自らの研究課題の探究方策を構想する。																						
13																						
14																						
15																						
ラック ニ ン イ グ ブ		A:知識の定着・確認		B:意見の表現・交換		C:応用志向		D:知識の活用・創造		実習		工夫 そ の 他 の		LMS (Moodle) の活用								
時間外学修 の内容と時 間の目安		準備 学修		実習計画，実習準備 (20h)																		
		事後 学修		実習日誌 (10h)																		
教科書		必要な資料等は大学より配付する。																				
参考書		必要な資料等は大学より配付する。																				
成績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法										割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10	
	取り組みの態度 …実習計画書・実習日誌・実習報告 (発表) を含む										20%	○										
	研究対象に関連する観察										20%	○										
	研究対象に関連する分析										20%	○										
	自らの研究課題についての考察										20%	○										
	自らの研究課題に対する探究方策の具体的な構想										20%		○									
注意事項																						
備考																						
リンク																						
		URL																				

担当教員の 実務経験の有無	。
教員の 実務経験	内田（小・中・盲）／河野（小）／森竹（中・教育委員会事務局）／高橋（特支・教育委員会事務局）／後藤（小・教育委員会事務局）／廣田（小）
実務経験を いかした教 育内容	学校の教諭（内田・河野），教頭（高橋），校長（廣田）や教育委員会事務局（森竹・高橋）の実務経験遣基づき，実習に関する指導を行う。